

大画面と大音響
魂にひびく
スーパー・ライブ!!

THE BEATLES

伝説的な映画と
ともにビートルズが
帰ってきた

シエア スタジアム

THE BEATLES AT SHEA STADIUM

〈スタッフ〉製作=ボブ・ブレッチェ 撮影=アンドリュー・ラズロ

編集=シド・ニイ・カット/アーリン・ガーソン

〈出演〉ザ・ビートルズ/キング・カーチス/グレート・バンド/エド・サリバン
サウンス・インコーポレイティッド/マレー・ザ・K

〈曲名〉ヘルプ/翼の乗車券/ハード・デイズ・ナイト/ツイスト

アンド・ジャヴ/キャント・バイ・ミー・ラブ/アイ

フィール・フライン等 全10曲

〈カラー作品〉



マジカル ミステリー ツアー

THE BEATLES' MAGICAL MYSTERY TOUR

〈スタッフ〉製作・監督・音楽=ザ・ビートルズ プロダクション・デザイナー=デニス・オテル

録音=マイケル・ラックス 撮影=リチャード・スターキー

〈キャスト〉ザ・ビートルズ/ジョージ・クレイドン/ジェシー・ロビンズ/ビクター
スピネッティ/アイバー・カトラー

〈曲名〉マジカル・ミステリー・ツアー/ユア・マザー・シュート

ズウ/フル・オン・ザ・セル/アイ・アム・ザ

ウォルラス/ブルー・ジェイ・ウェイ/
(サントラ監・東芝EMU)

4チャンネル
超ステレオ音響





マジカルミステリーツアー

シエアスタジアム

<スタッフ>

製作・監督・音楽・主演…ザ・ビートルズ
音響……………マイケル・ラックス
撮影……………リチャード・スターキー

<STAFF>

Producer, Director, Musician…THE BEATLES
Sound……………MICHAEL LAX
Director of photography…RICHARD STARKEY

<スタッフ>

製作……………ボブ・プレッチェ
撮影……………アンドリュー・ラズロ
台本……………バズ・コーハン
……………ビル・アンジェロス
編集……………シドニー・カット
……………アーリン・ガーンソン

<STAFF>

Produce……………BOB PRECHT
Director of Photography…ANDREW LASZLO
Continuity……………BUZZ KOHAN
……………BILL ANGELOS
Film Editors……………SIDNEY KATZ
……………ARLINE GARSON

この映画は、解散前に作られた彼ら最後のものであり、記念碑的傑作である。製作・監督・音楽・主演と大活躍（撮影もリンゴ・スターが本名を使ってやっている）すると共に、音楽を聴覚でなく視覚で感じさせようと、これまでの映画常識をすべて打ち破っている。この斬新的で大胆な映画は、当時多くの映画作家達を戸惑わせ、賛否両論の物語をかもした、凄い映画だ！いや駄作だ！と。だがこの映画こそ、彼らビートルズのものであり、ビートルズの夢であるのだ。

物語は、リンゴがいつも口喧嘩のたえないジェシー伯母さんを、奇妙なバス旅行に招待したこと、次々に起るミステリアスでファンタジックな世界にまき込まれてゆくという展開である。あなたを、音楽と幻想の、ビートルズの愛の世界に招待します。

演奏曲目は、マジカル・ミステリー・ツアー／フル・オン・ザ・ヒル／ユア・マザー・シュッド・ノウ／アイ・アム・ザ・ウォルラス／ブルー・ジェイウエイ／フライング。
プロダクション・デザイナーにデニス・オデル、音響をマイケル・ラックス。共演はジョージ・クレイドン、ジェシー・ロビンズ、ビクター・スピネッティ等ビートルズ一家が総出演している。（上映時間は2本で1時間44分）

偉大なる男たちビートルズは、音楽の世界は言うに及ばず、映画界にも不動の軌跡を残している。ビートルズがやって来るヤァ／ヤァ／ヤァ／(64)「HELP」(65)「イエロー・サブマリン」(69)「レット・イット・ビー」(70)とあるが、未だに劇場公開されていない幻の名作「マジカル・ミステリー・ツアー」(67年4月製作)を、ここに大型スクリーンで上映する。

●解説

ビートルズのヒット・ナンバー、ヘルプ／涙の乗車券／ハード・デイズ・ナイト／ツイスト・アンド・シャウト／キャンント・バイ・ミー・ラブ／アイ・フィール・ラフィン／デイズ・ミス・リジー等全10曲が演奏される。又、前座をつとめる出演者たちに、故エド・サリバン(TVの名司会者)、マレー・ザ・K(人気No.1のDJ)、テナー・サックスの奏者キング・カーチス・グレート・バンド、サウンズ・インコーポレイテッド、ブレンダ・ハロウエイ、デイスコテク・ダンサーズと超一流のメンバーが登場。製作をボブ・プレッチェ、撮影にアンドリュート・ラズロが担当。

●解説

数多くの輝かしい栄光と伝説に包まれたビートルズ、彼らの全貌を4チャンネル・超ステレオ音響、35mmの大型スクリーンで見せる長篇ドキュメンタリー映画の決定版である。

1965年8月15日、音楽史上初めてという、マンモス球場での野外大コンサートが開かれた。5万6千人以上の大観衆を飲み込んだニューヨーク、シエア・スタジアム。ものものしい警備、スタジアムを埋めつくす熱狂的なファン、カメラの放列、すべてがビッグ・ページェントだ。遂にスーパー・スターが姿をあらわす。ジョンが、ジョージが、リンゴが、そしてポールが眼の前にいる。怒濤のような嬌声が、ステージの彼らを包む。世界を制するビートルズのライブ・ステージと観客席を、大型ヘリコプターと総数21台のカメラを駆使し、最高の臨場感を写し出す。まさに演出のない迫真のドラマであり、二度と見ることが出来ない貴重なライブ・フィルムである。

*近道路ショー

浅草ロキシー (841) 2525	横浜ピカデリー前 (261) 1007	横浜西口シネマ (311) 7931	江東花月 (631) 9639
サンロード街 武(22) 3555	イセザキシネマ (911) 6571	目黒スカラ座 (491) 4734	蒲田スカラ座 (738) 0010
吉祥寺ムサシノ	王子スカラ座	目黒スカラ座	蒲田スカラ座